



各 位

2026年5月13日

綿半ソリューションズ株式会社
電炉母材の冷間ロール成形角形鋼管「TSC295」を採用した新駐車場認定で
脱炭素社会に貢献する環境配慮型駐車場を2件受注・着工

綿半ソリューションズ株式会社（本社：東京都新宿区 代表取締役 CEO：野原勇 以下、当社）は、東京製鐵株式会社（本社：東京都千代田区）が開発・供給を行っている電炉鋼板を使用した冷間ロール成形角形鋼管（通称：TSC295）を採用した自走式駐車場の防耐火大臣認定を新たに取得し、この度、その認定を使用した自走式駐車場を受注および着工したことをお知らせします。

TSC295 は、東京製鐵株式会社が開発し、国土交通大臣認定を取得した冷間ロール成形角形鋼管です。電炉材（再生鉄鋼製品）はスクラップを主原料としていることから、高炉材と比較して粗鋼 1 トンあたりの二酸化炭素排出量を5分の1程度に抑えることができます。

当社は、これまで採用が難しい状況であった TSC295 を、防耐火大臣認定の仕様規定に基づき、使用可能材料として仕様に盛り込み、新たに防耐火認定を取得しました。

また、JIS 規格に基づく梁材の H 形鋼に加え、従来課題であった柱材にも電炉材を使用することにより、これまで以上に二酸化炭素排出量削減に努め、発注者さまの ESG 経営に貢献していきます。

【TSC 製造・供給会社】

■ 企業概要

会社名	東京製鐵株式会社
本社所在地	東京都千代田区霞が関三丁目7番1号 霞が関東急ビル 15階
設立	1934年11月23日
事業内容	鋼塊、各種鋼材、特殊鋼、鉄鋼製品の製造及び販売
証券コード	5423
ホームページ	https://www.tokyosteel.co.jp/

【受注物件概要—1】

工事名称：常陽銀行新本店新築工事（駐車場棟）

発注者：株式会社常陽銀行

C M R：日建設計コンストラクション・マネジメント株式会社

設計者：株式会社日建設計

監理者：株式会社日建設計

規模：3層4段／延床面積 3,526.76 m²（容積対象面積 2,796.61 m²）／収容台数 161 台

施工者：綿半ソリューションズ株式会社（本店本体工事は清水・株木特定建設共同企業体）

工期：2026年1月5日～2028年4月30日

TSC 使用予定量：柱材 67 トン

CO₂ 排出量削減数量（高炉材と比較）：約 69%削減

本物件は、『Cross Point』をコンセプトに「お客さま、地域の皆さま、従業員など、様々なステークホルダーがつながり、ともに価値を創造し続け、持続可能な地域社会づくりに貢献していく、地域のシンボルへ」として計画されています。今回採用された TSC 材使用の認定駐車場を通じて、持続可能な地域社会づくりに貢献していきます。



完成予想パース

（作画提供：株式会社日建設計）

■ 企業概要

会社名	株式会社常陽銀行
本店所在地	茨城県水戸市南町 2 丁目 5 番 5 号
設立	1935 年 7 月 30 日
事業内容	預金、融資、為替などの普通銀行業務全般
証券コード	7167（株式会社めがきフィナンシャルグループ）
ホームページ	https://www.joyobank.co.jp/

【受注物件概要—2】

工事名称：（仮称）サンエー新本社・食品加工センター新築工事（駐車場棟）

発注者：株式会社サンエー

設計者：綿半ソリューションズ株式会社 一級建築士事務所

監理者：綿半ソリューションズ株式会社 一級建築士事務所

規模：6層7段／延床面積 13,091.39 m²／収容台数 704 台

施工者：綿半ソリューションズ株式会社

工期：2026年2月15日～2027年3月15日

TSC 使用予定量：柱材一部 123.3 トン

CO₂ 排出量削減数量（高炉材と比較）：約 69%削減

株式会社サンエーでは、今回の新社屋および食品加工センターの建替えを行うことで、中長期的な企業価値向上を目指しており、本駐車場も ESG 経営に貢献しています。



完成予想パース

■企業概要

会社名	株式会社サンエー
本店所在地	沖縄県宜野湾市大山7丁目2番10号
設立	1970年5月28日（創業：1950年1月5日）
事業内容	食料品、衣料品ならびに家電、日用雑貨等の住居関連用品の小売業
証券コード	2659
ホームページ	https://www.san-a.co.jp/

【本件に関するお問合せ】

○綿半ソリューションズ株式会社 担当：川上

住所 東京都新宿区四谷1-4 綿半野原ビル

T E L 03-3341-2723 M A I L h_kawakami@watahan.co.jp